

(様式3)

令和4年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	雲南市	公民館等の名称	地域自主組織日登の郷（日登交流センター）
------	-----	---------	----------------------

事業の目的	<ul style="list-style-type: none">・本事業を通して、子ども、若者、保護者といった次世代を担う世代が、お互いに関わり合いをもち、地域活動に参加したり、交流センターを活用したりするきっかけとする。・小学校のサンライズ研修などの経験を活かし、子どもたちが自らの力で野外活動や宿泊体験を行うことで、子どもたちに体験活動の機会を与え、実行力を高める。また、職員や大人の参加者も体験活動のスキルアップの機会にすることで、今後も各種事業の運営に活かしていく。・保護者や地域住民、自主組織職員等が子どもたちの見守りや指導等に参加することで、お互いの交流の機会とし、今後の活動の充実を図る。																											
事業の内容	<p>○ターゲットとする世代・・・小学生とその保護者、地域住民</p> <p>○地域の状況やターゲットとした理由</p> <ul style="list-style-type: none">・Iターン、Uターン者を含め、様々な世帯がいる本地域では、今後も交流センターが人々のつながりや各種活動の拠点としての役割を担っていく必要がある。本事業では、小学生の力を高めるとともに、保護者世代を呼び込み、つながりづくりや交流センター活用のきっかけとする。 <p>○事業の内容（日時、場所、参加者数、具体的な活動）を具体的にご記載ください。 ※活動の内容はできるだけ具体的にご記載ください。</p> <table border="1"><tr><td>10月1日（土）</td><td>午前…自由遊び、交流</td><td>参加者30人</td></tr><tr><td></td><td>13時30分…外遊び・テント設営（グラウンド）</td><td></td></tr><tr><td></td><td>15時00分…野外炊飯（カレー、飯ごう炊飯など）（グラウンド、調理室）</td><td></td></tr><tr><td></td><td>17時00分…食事・片付け（グラウンド・調理室）～ 自由時間（各家庭で入浴など）</td><td></td></tr><tr><td></td><td>20時30分…花火・自由遊び（グラウンド）～ “たき火を囲んで大交流会”・自由時間</td><td></td></tr><tr><td>10月2日（日）</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>6時30分…起床・荷物移動</td><td>7時00分…朝食（ホットサンドなど）（グラウンド）</td></tr><tr><td></td><td>8時30分…テント片付け・掃除</td><td>9時30分…外遊び</td></tr><tr><td></td><td>11時00分…ふりかえりの会、解散</td><td>午後…借用道具の返却</td></tr></table> <p>日登地域では、「地域づくりは人づくりから」をモットーに、様々な地域活動を実施している。子どもたちと地域住民の交流も盛んに行ってきたが、コロナ禍で活動が縮小された面もある。</p> <p>毎年、寺領小学校と地域自主組織で行ってきた宿泊体験活動（サンライズ合宿）もその一つで、交流センターでのキャンプを拠点に、地域巡りや川遊び、座禅体験など、多くの活動を学校と地域住民が協力して行ってきたが、コロナ禍の現在は、日帰り活動となっている。</p> <p>子どもたちや保護者からも、テントでの宿泊体験や大人同士の交流の機会を望む声もあることから、本事業を活用し、交流センターに多世代が集い、繋がりを生むための活動を実施した。</p> <p>当初の予定では、7月を計画していたが、コロナの感染拡大と重なり、開催を断念した。その後も収束が見えず、実施が危ぶまれたが、10月に開催することができた。当日は、晴天となり、日中の気温も例年になく温かく、活動日和となった。</p> <p>感染対策として、当初は、体育館で、カラーリングや仲間づくりのアクティビティを行う予定</p>	10月1日（土）	午前…自由遊び、交流	参加者30人		13時30分…外遊び・テント設営（グラウンド）			15時00分…野外炊飯（カレー、飯ごう炊飯など）（グラウンド、調理室）			17時00分…食事・片付け（グラウンド・調理室）～ 自由時間（各家庭で入浴など）			20時30分…花火・自由遊び（グラウンド）～ “たき火を囲んで大交流会”・自由時間		10月2日（日）				6時30分…起床・荷物移動	7時00分…朝食（ホットサンドなど）（グラウンド）		8時30分…テント片付け・掃除	9時30分…外遊び		11時00分…ふりかえりの会、解散	午後…借用道具の返却
10月1日（土）	午前…自由遊び、交流	参加者30人																										
	13時30分…外遊び・テント設営（グラウンド）																											
	15時00分…野外炊飯（カレー、飯ごう炊飯など）（グラウンド、調理室）																											
	17時00分…食事・片付け（グラウンド・調理室）～ 自由時間（各家庭で入浴など）																											
	20時30分…花火・自由遊び（グラウンド）～ “たき火を囲んで大交流会”・自由時間																											
10月2日（日）																												
	6時30分…起床・荷物移動	7時00分…朝食（ホットサンドなど）（グラウンド）																										
	8時30分…テント片付け・掃除	9時30分…外遊び																										
	11時00分…ふりかえりの会、解散	午後…借用道具の返却																										

だったが、密を避け、屋外で活動した。準備した道具は限られたが、子どもや大人も自由にアイデアを出し合い、打ち解け、楽しい時間を過ごすことができた。

また、テントでの宿泊は、家族ごとに少人数で行った。キャンプ道具が持参できない人も気軽に参加できるよう、国立三瓶青少年交流の家からテントなどの道具を借用した。子どもだけでなく、大人同士も一緒に活動することで、次第に仲が深まる様子が印象的であった。交流センターの設備を活用し、飯ごうなどの調理器具も多数揃え、密を避けながら活動した。子どもたちも、飯ごう炊飯や焚き火などを、自分たちの力でチャレンジし、大変満足そうだった。



子どもも大人も仲が深まった



炊飯も上達



海外のたき火を学ぶ



会話も弾む 即席ライブも



ゆったりとした時間を過ごす



火の扱いも自分たちで

○期待する成果・効果

- ・野外炊飯やテント泊など、子どもたちに体験活動の機会を与え、個々の力や集団の力を伸ばす。
- ・地域自主組織を中心に、「地域づくりは人づくりから」を掲げ、様々な活動を行っている。本事業で、交流センターを拠点に新たな活動を行うことで、子どもたちや保護者世代が交流センターの活用方法や地域の各種事業への参加について考えるきっかけとしたい。
- ・地域住民のつながりづくり、地域活動への参画意識の高まりを期待している。

○計画書に記載された「期待する成果・効果」をふり返って見られた成果や課題、次年度以降の見通しなどをご記載ください。

成果と課題
今後の見通し

・家から近く、調理室などの設備が整った交流センターを会場にすることで、初めてキャンプをする家族も参加しやすい活動になった。U・Iターンの家庭も多く、炊飯活動と一緒にしたり、たき火を囲んで談笑したり、大人同士も仲が深まるよい機会となった。

・普段交流センターを利用する機会の少ない大人にも、活動を通して、施設利用のアイデアやイメージを持ってもらうことができた。たき火を囲んで話す中から、コロナ禍で自粛していた地域イベントへの期待や、演奏機会のない木次中学校吹奏楽部の発表の場づくり、高校生と大人のバンド演奏などの話題が持ち上がり、「秋のイベント祭」の企画にもつながった。

・今回は、日程変更と規模縮小のため、一部の学年に限って実施することになり、広く周知することが叶わなかったが、すでに次回の開催を臨む声も挙がっている。コロナの状況を見ながらではあるが、参加者を地域全体に広げることを検討したい。

・各世代の交流を通して生まれる、様々なアイデアを活かした活動を展開していきたい。